

交換留学報告書

* この報告書に記載される内容は多文化社会学部のウェブサイト等に記載いたしますので、予めご了承ください。

氏名	富井 晴菜	学年(渡航時)	3 年
派遣先大学	パリ東クレティユ大学		
国・地域	フランス・クレティユ		
派遣期間	2025 年 1 月	～	2025 年 5 月

履修科目

1 学期目	
履修科目	授業内容
Principal of Human Resources Management	人材の選抜・活用・評価・育成方法と、変化の激しい環境下での人事部門の役割について学ぶ
Global Brand Management	ブランドの構築や戦略、グローバルブランドの運営方法について学び、実際の企業を題材にした分析やグループワークを通してブランドマネジメントを実践的に理解する
Doing Business Abroad	異文化間コミュニケーションをテーマに、プレゼンやロールプレイを通じて、多様な表現方法による効果的な伝達力を身につける
Competitive Intelligence	競合他社の情報を収集・分析し、戦略的意思決定に役立てる「競争インテリジェンス」の手法と倫理的枠組みを学ぶ
Fundamentals of Management Accounting & Control	経営者が意思決定や業績評価、管理に会計情報をどのように活用するかについて、実務に役立つ基礎的なフレームワークを習得する

留学レポート(1,500 字以上)

私は国際企業の経営に関する知識を深めることとフランス語の向上を目的に、パリ東・クレティユ大学の経済/経営学部にて半年間留学しました。

私は長崎大学入学当初からアフリカの経済開発に強い関心を持っており、特に旧フランス植民地であるセネガルにおける地場産業の発展や雇用創出の重要性に着目してきました。留学後にはセネガルでのインターンシップ(個人)も計画しており、そのためにも実践的な知識とコミュニケーション力を身につける必要がありました。パリ東・クレティユ大学は、アフリカ地域と歴史的な関わりを持つフランスという国に位置していることから、より自身の興味に沿った情報を得られると思い、留学を決意しました。

大学の授業は、日本で馴染みのある講義形式とは異なり、ディスカッションやグループワークを中心とした実践的なスタイルが採用されていました。特に印象に残っているのは、実在する多国籍企業のプロモーション戦略をグループで考え、プレゼンテーションを行う授業です。グループは、フランス、韓国、スペイン、トルコなどの様々な出身地の学生で構成されており、議論の中でお互いの主張がうまく伝わらず、もどかしく感じたこともありましたが、学生の国籍が多様だからこそ出る意見や視点の違いが非常に興味深かったです。他の学生たちの英語力やプレゼンテーションスキルの高さにも刺激を受け、自分自身もその中で成長することができたと感じています。

生徒の構成としては、フランス人学生と留学生がほぼ半数ずつ在籍していて、その中で日本人の学生は私を含め2名と、非常に少数派でした。授業中や交流の場では、日本文化や日本企業について質問を受けることも多く、「日本人代表」としての役割を担う機会が多かったように感じます。特に、日本企業の商品の特徴や日常文化について聞かれることが多く、改めて自国の文化や社会の仕組みについて深く考える貴重な経験となりました。

また、どれだけ寒い日も休憩時間には外に出てコーヒーを飲みながら雑談をする習慣や、授業開始5分前でも大半の学生が来ている国民性など、日常的な行動の中で感じる文化の違いが興味深い日々でした。

学外でも、大学主催のウェルカムイベントや、フランス人学生が企画する交流会・イベントなどが多数開催されており、授業外でも他国の学生たちと関わることができました。こうした活動に参加することで、国籍が違う友達の日常的な習慣や文化を知ることができました。バディー制度も充実していて、実際に来年長崎大学に留学予定のフランス人の学生とバディーとなり、二人で遊びに出かけたこともありました。

フランス語の授業は交換単位の対象とはならないものの、レベル別にクラス分けがされており内容は非常に充実していました。私はビジネスクラスに所属していました。初めはヨーロッパ出身の学生とのフランス語への慣れの違いに圧倒されついていけないか不安でしたが、担当の先生が丁寧にフォローしてくださりクラスの雰囲気も温かかったことから、積極的に取り組むことができました。最終的には、日常の簡単な会話ができる程度のフランス語力が身に付き、買い物やカフェでの注文、簡単なやりとりとくに困らなくなったことが大きな自信につながりました。

この留学を通して得られた知識、異文化経験、そして出会った人々との関わりは、今後の人生において非常に価値のある財産であると確信しています。特に、留学の大きな目的であった多国籍企業の経営に関する知識や、実践的なコミュニケーション力を鍛えることが出来たことは、セネガルでのインターンシップや将来のキャリアにおいて大きな武器になるはずです。この貴重な経験を通して得た学びを土台に、これからも向上心を持って挑戦し続けたいと考えています。

留学中の写真(5枚程度) ※写真のキャプションも入れること



フランス語の授業の様子



留学生交流会で貰ったゲームの景品



プレゼンテーションの様子



グループワーク後の発表の様子
グループワーク中はデジタル機器をできるだけ
使わないように言う教授が多い印象



パリ中心部まで電車で30~40分